

令和6年度予算編成に向けて



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

「骨太の方針」

皆様はご存知ですか？

「経済財政運営と改革の基本方針」（通称“骨太の方針”）は、経済財政政策のほか社会、行政などを含むあらゆる分野の改革の方向性を記した文書です。この方針の下、年末に控える来年度予算編成や税制、そして薬価・診療報酬改定などの重要政策の具体的検討がなされます。

現在6月の閣議決定に向けて、政府内では各府省の検討結果などを踏まえ、岸田総理が議長を務める経済財政諮問会議で案文作業が進められています。自党内では各種勉強会やプロジェクトチームおよび政務調査会の下に置かれている部会が大忙しの状態で侃々諤々の政策論議が展開されています。

この方針は地方の行財政にも大きく影響しますので、この時期の議員会館には各自治体の首長をはじめ県市議会、団体などの皆様がたくさん来られます。

日本薬剤師会からは、医療分野における物価・賃金高騰対策および来年度予算・税制改正要望に加えて、日本薬剤師会が直面する喫緊の諸課題として次の4つのお話を伺っております。

- 1 令和6年度診療報酬・介護報酬改定に向けた必要な財源の確保
- 2 安定した地域医療提供体制の維持に必要な社会保障財源の確保
- 3 物価・賃金の高騰を踏まえ、骨太の方針に薬局への財政支援を明記
- 4 国民の安全な医薬品使用を脅かす過剰な規制改革の抑制

また、少子化・子育て対策も気になるところで、こども政策を進めることには皆が賛同しますが、財源論として社会保障費に切り込む旨の報道が先行しているため、党内では「社会保障の充実なしに少子化対策は進まない」との意見が多く出されています。

年末に向けて、国民の命と暮らしを守るための社会保障制度の充実を通じ、地域の皆様の安心・安全な生活を確保していけるように頑張っています。

内閣府ホームページ

令和5年第8回経済財政諮問会議

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2023/0607/agenda.html>



令和5年6月8日 自由民主党政調全体会議